

多様な人材活用 環境整備求める

経済同友会県に提言書

富山経済同友会の人財活躍委員会は31日、高度外国人材のマッチングや生活支援をサポートするプラットフォームを構築するよう県に提言した。外国出身や女性、兼業副業といった多様な人材を活用できる環境づくりを求めた。

同委員会は2年に1度、

山室県商工労働部長(右)に提言書を渡す森委員長―県庁



提言をまとめている。森弘吉委員長(エムダイヤ社長)が県庁で、山室芳剛商工労働部長に提言書を手渡した。

提言書では行政、企業、経済団体、教育機関が多様な人材採用に向けて連携を強化すること、能力を最大限に発揮できる環境を整備することの2点を盛り込んだ。

山室部長は、県の「とやま外国人材活用支援デスク」が2025年度から定着に向けた支援を行うなど取り組みを強化しているとし、「県内の経済界と連携を深めたい」と話した。